

大会宣言

少子・高齢化や核家族化の進行、人口減少等による地域社会を取り巻く環境の変化、地域のつながりの希薄化等により社会的孤立や生活困窮、介護・子育てに対する不安など、福祉課題は多様化・複雑化しています。

このような中、子ども・高齢者・障がい者などすべての人々が、住み慣れたまちで安心して暮らせる「地域共生社会」の実現のため、地域の課題を住民が主体的に把握して解決を試みる体制づくりと担い手の育成が求められています。

この社会の実現には、制度、分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、私たち一人ひとりが「他人事（ひとごと）」ではなく、「我がこと」として魚津のまちを考えていく必要があります。

そのために、私たちは今こそ住民相互の絆を再構築し、地域住民、企業、行政、関係団体などが領域を超えた連携をはかり、地域で人と人がつながり支え合いながら、地域福祉の推進に向け努力していかねばなりません。

本日、ここに第六十八回魚津市社会福祉大会の開催にあたり、だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して暮らせる地域福祉のまちづくりの実現に向け努力することをここに宣言します。

令和元年七月十三日

第六十八回魚津市社会福祉大会